

令和5年3月

医療関係者各位

株式会社陽進堂

「使用上の注意」改訂のお知らせ

5-HT_{1B/1D}受容体作動型片頭痛治療剤
エト립タン錠 20mg「YD」
(エト립タン臭化水素酸塩錠)

今般、自主改訂により下記の通り使用上の注意事項を変更致しましたので、お知らせ申し上げます。
(下線部分が変更箇所です。)

ご使用に際しましては、下記改訂内容をご参照賜りますようお願い申し上げます。

記

〈改訂内容〉

改訂後	改訂前(部:削除)																					
<p>[禁忌](次の患者には投与しないこと) (1)~(6) 変更なし (7) エルゴタミン、エルゴタミン誘導体含有製剤、他の5-HT_{1B/1D}受容体作動薬、HIVプロテアーゼ阻害薬(リトナビル)、あるいはニルマトレルビル・リトナビルを投与中の患者(「相互作用」の項参照)</p>	<p>[禁忌](次の患者には投与しないこと) (1)~(6) 省略 (7) エルゴタミン、エルゴタミン誘導体含有製剤、他の5-HT_{1B/1D}受容体作動薬、あるいはHIVプロテアーゼ阻害薬(リトナビル、<u>インジナビル硫酸塩エタノール付加物</u>、<u>ネルフィナビルメシル酸塩</u>)を投与中の患者(「相互作用」の項参照)</p>																					
<p>3. 相互作用 変更なし (1) 併用禁忌(併用しないこと)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>薬剤名等</th> <th>臨床症状・措置方法</th> <th>機序・危険因子</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">変更なし</td> </tr> <tr> <td>HIVプロテアーゼ阻害薬 リトナビル(ノビーア)</td> <td>本剤の代謝が阻害され血中濃度が上昇するおそれがある。</td> <td>本剤は、主として肝代謝酵素チトクロームP450 3A4により代謝され、代謝酵素阻害薬によりクリアランスが減少する。</td> </tr> <tr> <td>ニルマトレルビル・リトナビル(パキロビッド)</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子	変更なし			HIVプロテアーゼ阻害薬 リトナビル(ノビーア)	本剤の代謝が阻害され血中濃度が上昇するおそれがある。	本剤は、主として肝代謝酵素チトクロームP450 3A4により代謝され、代謝酵素阻害薬によりクリアランスが減少する。	ニルマトレルビル・リトナビル(パキロビッド)			<p>3. 相互作用 省略 (1) 併用禁忌(併用しないこと)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>薬剤名等</th> <th>臨床症状・措置方法</th> <th>機序・危険因子</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">省略</td> </tr> <tr> <td>HIVプロテアーゼ阻害薬 リトナビル <u>インジナビル硫酸塩エタノール付加物</u> <u>ネルフィナビルメシル酸塩</u></td> <td>本剤の代謝が阻害され血中濃度が上昇するおそれがある。</td> <td>本剤は、主として肝代謝酵素チトクロームP450 3A4により代謝され、代謝酵素阻害薬によりクリアランスが減少する。</td> </tr> </tbody> </table>	薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子	省略			HIVプロテアーゼ阻害薬 リトナビル <u>インジナビル硫酸塩エタノール付加物</u> <u>ネルフィナビルメシル酸塩</u>	本剤の代謝が阻害され血中濃度が上昇するおそれがある。	本剤は、主として肝代謝酵素チトクロームP450 3A4により代謝され、代謝酵素阻害薬によりクリアランスが減少する。
薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子																				
変更なし																						
HIVプロテアーゼ阻害薬 リトナビル(ノビーア)	本剤の代謝が阻害され血中濃度が上昇するおそれがある。	本剤は、主として肝代謝酵素チトクロームP450 3A4により代謝され、代謝酵素阻害薬によりクリアランスが減少する。																				
ニルマトレルビル・リトナビル(パキロビッド)																						
薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子																				
省略																						
HIVプロテアーゼ阻害薬 リトナビル <u>インジナビル硫酸塩エタノール付加物</u> <u>ネルフィナビルメシル酸塩</u>	本剤の代謝が阻害され血中濃度が上昇するおそれがある。	本剤は、主として肝代謝酵素チトクロームP450 3A4により代謝され、代謝酵素阻害薬によりクリアランスが減少する。																				

〈改訂理由〉

・「禁忌」、「併用禁忌」の一部改訂

相互作用の相手薬と記載の整合性を図るため、ニルマトレルビル・リトナビルを追記いたしました。

また販売中止品のインジナビル硫酸塩エタノール付加物及びネルフィナビルメシル酸塩を削除いたしました。

⇒次頁もご覧下さい。

—医薬品の適正使用に欠かせない情報です。必ずお読み下さい。—

- DSU No.316(2023年4月発行)掲載予定
スマートフォン・タブレット版のDSUも公開されます。(https://dsu-system.jp/Web)
- 改訂添付文書情報につきましては、陽進堂ホームページの医療関係者様向けサイト(https://www.yoshindo.co.jp/)及び総合機構のホームページ「医薬品に関する情報」(https://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html)にも掲載しております。
- 添付文書閲覧アプリ「添文ナビ」をダウンロードし、GS1バーコードを読み取ることで、PMDAホームページの最新の電子化された添付文書を確認頂くこともできます。

エレトリプタン錠 20mg「YD」のGS1バーコード



iOS版



Android版



—添文ナビ—

- PMDAによる医薬品医療機器情報配信サービス「PMDAメディナビ」にご登録頂きますと、医薬品の重要な安全性情報がタイムリーにメール配信されます。(https://www.pmda.go.jp/safety/info-services/medi-navi/0007.html)

お問い合わせは、担当MR又は弊社医薬営業本部までご連絡ください。

(株)陽進堂 医薬営業本部 ☎ 0120-647-734

以上